

令和6年度 第1回ラドネット研究会

日 時： 令和6年6月15日（土）14:00～17:30
場 所： 公益財団法人原子力安全技術センター 3階会議室
（〒112-8604 東京都文京区白山5-1-3-101）
及びMicrosoft Teamsによるオンライン開催
参加費：無料

プログラム

14:00 開会挨拶 山野 直樹 理事長

14:05～14:50 日本原子力学会遮蔽材料標準の進捗報告
講師 中田 幹裕 理事（ラドネット）

【講演要旨】日本原子力学会標準委員会で策定中の遮蔽材料標準の進捗状況について紹介する。遮蔽計算用規定コンクリート組成の標準作成について、遮蔽計算に適切でありかつコンクリート工学的に齟齬のない組成となるよう考慮・検討した事項を整理すると共に、更なるコンクリート組成データ調査による規定組成妥当性確認検討と、コンクリート組成変動に対する線量率影響評価の全体概要を示す。

14:50～15:35 会社紹介とタングステン・モリブデンの遮蔽事例について
講師 中野 保 氏（株式会社アライドマテリアル）

【講演要旨】弊社はタングステン及びモリブデンの材料メーカーです。本講演では、これらの金属の特性や用途を紹介しながら、遮蔽材としての事例について紹介し、原子力関係では遮蔽材としてあまりポピュラーではありませんが、今回の講演を契機に興味を持って頂きたいと考えております。

15:35～15:50 休 憩

15:50～16:35 ビルドアップ係数のための光子深層透過計算への光核反応の影響
講師 大西 世紀 氏（国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所
海上技術安全研究所）

【講演要旨】新しい点減衰法コードPOKERのための新たなビルドアップ係数データベースを作成した。輸送コードにはMCNP6を、断面積ライブラリにはENDF/B-VIIおよびIAEA/PD-2019を用い、光核反応を考慮した線量計算を実施した。講演では、この光核反応の線量計算及びビルドアップ係数への影響について述べる。

16:35～17:20 中性子深層透過における核データの不確かさの誤差伝播
講師 山野 直樹 理事長（ラドネット）

【講演要旨】核データの不確かさに起因する中性子深層透過における誤差伝播の不確実性を定量的に評価する手法を用いて、従来の核データ共分散を用いた感度解析手法では取り扱うことが困難な、弾性散乱の角度分布と全断面積の相関関係による誤差伝播を定量的に評価した論文を紹介する。

17:20 閉会挨拶 坂本 幸夫 副理事長

17:30 閉会

17:30～ 懇親会（任意参加）